

山口県生協連第 2 回役職員研修会を開催

日時：2024年3月14日(木)
場所：生活協同組合コープやまぐち
第3会議室
時間：13:00~14:30
参加者：58名(Web参加も含む)
演題：「AI活用セミナー」
講師：中小企業診断士 篠田典彦氏

昨年度の役職員研修会で、篠田典彦氏に「SNSの活用セミナー」を講演していただきました。そして今回は「AI活用セミナー」の内容で講演していただきました。

まず、生協連の岡崎会長から、各会員生協でも業務の効率化のために生成AIの活用が大切であること、そして検討課題であることを言われました。



岡崎会長

篠田氏は、AIの歴史や概要、仕組みについて説明されました。AIは1960年代から存在しており、会話ができるロボットもAI技術によるものです。機械学習を経てLLM(大規模言語モデル)によって人間レベルの文章作成が可能になったことも紹介されました。



篠田氏

次に、世界中で注目されているChatGPTについて、使い方や注意点が説明されました。ChatGPTの得意なことや精度を上げるコツ(役割を与える、前提条件や制約条件を

伝えること)も具体例を交えて説明されました。またAIを使用

する際の注意点(機密情報の漏洩回避、偽情報や不正確な情報への注意点著作権などの権利侵害、ディープフェイクの法整備不足)も強調されました。

その後、ChatGPTの基本的な使い方を実演動画を通じて学びました。ビジネス用のメール作成や商品のPOPやキャッチコピー作成、ビジネス相談、単純作業の効率化、文章要約、世界的料理人からのレシピの提案など、興味深い実演が行われ、参加者は熱心に見入っていました。

最後にChatGPTの応用的な使い方とマイクロソフトのCopilotの紹介がありました。

生成AIはますます身近になっていくため、参加者にとって入門となった研修会となりました。

参加者からは「ChatGPTに興味があったけど、具体的な使い方がわからなかったので、知ることができて良かったです。」「報道で少し知っていたが、ChatGPTが多くの作業を高性能に行ってくれることがわかりました。データの分析など実務にも役立てられそうな内容で、情報の入力に注意しながら活用したいです。」「AIを部分的にでも活用すれば業務改善につながると感じました。」「情報管理の問題はあるものの、業務効率化には今後必ず活用の必要が出てくると感じました。」など生成AIの活用に対する積極的な感想が多く寄せられました。



第 12 回監事・監事スタッフ研修会

この研修会は山口県生協連で年 1 回開催していて、今年で 13 回目となります。毎回生協運営に係る法改正等の情報共有とその対応について学ぶ機会にしています。

日時：2月9日（金） 13：00～16：00

会場：コミュニティセンター「はあもにい〜♪」

講師：日本生活協同組合連合会 渉外広報本部

法務部 井藤 康治 氏

太田 史子 氏

参加者：7 生協 11 人（内 web 参加 4 人）

開会あいさつの後、早速【監事の役割と監事監査の基本、期末監査のポイント】を井藤氏が、監事監査規則例の改訂について【法務関係の情報】を太田史子氏からリモートで説明していただきました。

参加者からは「監査業務の基本をわかりやすく解説してもらい、監査のポイントについても説明していただきました。最後に法務関係の最新情報を提供いただきました。人件費の価格転嫁が厳しく監視されていることを実感しました。」などの感想が出されました。



第 45 回福祉メーデー山口県集会で基調報告

2024 年 11 月 8 日、（一社）山口県労働者福祉協議会は山口市の労福協会館にて第 45 回福祉メーデー山口県集会を開催しました。

メインスローガンは「暮らしを守る労働者自主福祉運動のさらなる推進を」。山口県生協連からは荒瀬専務理事が、生協連で支援をしている山口県ユニセフ協会の取り組みを報告しました。紛争や自然災害などで命の危機にさらされている子どもたちへの支援をよびかけました。



第 49 回山口県消費者大会

山口県消費者団体協議会は、2023 年 12 月 5 日（火）、山口県総合保健会館にて山口県消費者大会を開催しました。テーマは「持続可能な未来のために ともに学び行動しましょう！」山口県生協連はこの大会を後援しています。記念講演～「意外と知らないお塩の話」(株)百姓庵の井上雄然氏、井上かみ氏～の後、漁協女性部・コープやまぐちが活動報告をしました。



生協連第 18 回親睦ボウリング大会 を開催しました

2023年10月29日（日曜日）13:30～15:00に、山口県生協連主催の第18回役職員親睦ボウリング大会が「ボウリング王国スポーツ小郡」で開催されました。このボウリング大会は会員生協間の交流と親睦を目的としています。

9つの生協から役職員を含む54名の参加者が子どもさんを連れてご家族で楽しいひとときを過ごしました。

開会前に、生協連の岡崎会長があいさつを行い、練習の後、ゲームがスタートしました。チームは3人1組で、各人が2ゲームずつプレーし、トータルの成績を競いました。今年はハンディキャップを様々に設定して、公平な試合を楽しんでいただきました。

ちょうどハロウィーンの時期だったため、仮装を楽しむチームもあり、各チームが盛り上がりました。

ゲーム終了後には表彰式が行われ、団体の部と個人の部の優秀者が発表され、歓声と拍手が会場に響きました。

最後に生協連の篠原副会長があいさつをし、今年度のボウリング大会を終了しました。



主な表彰は以下の通りです。

団体の部 優勝 共済生協(D) (山口県共済生協)

準優勝 共済生協(A) (山口県共済生協)

3位 医療生協健文会

個人の部 ハイゲーム賞 (男性)

岡崎 悟さん (山口県生協連)

ハイゲーム賞 (女性)

宮本 広美さん (山口県共済生協)

山口県ユニセフ協会の活動報告

春休み映画鑑賞会

3月24日(日)山口県立図書館レクチャールームにてユニセフ映画上映会が開催されました。昨年広島県ユニセフ協会でご好評だった「歌声にのった少年」が上映されました。紛争の絶えないパレスチナ・ガザ地区に暮らす少年が世界的な歌手になる実話を実写化した感動のサクセスストーリー!!を描いています。ガザの危機的状況は報道でも取り上げられており、多くの方が映画鑑賞会に参加してくださいました。ユニセフでは命の危機にさらされている子どもたちへの支援のために緊急募金をよびかけています。会場では、ガザ地区の子どもたちの写真を展示しました。このような活動を通じて、子どもたちの未来に希望をもたらすことができることを願っています。



ユニセフカレンダー募金

コロナ禍で4年間できなかったユニセフカレンダー募金を開催しました。東京銀座の老舗文具店「伊東屋」様のご厚意で、2024年カレンダーを、皆さまの募金協力のささやかなお礼の品としてお渡し下さいと日本ユニセフ協会へ寄贈いただいたものです。山口県ユニセフ協会ではコープやまぐち様の県内の



店舗にご協力いただき、カレンダーと募金箱を設置させていただきました。楽しみにしてくださっている方も多く、たくさんの募金のご協力をいただきました。

消費者ネットやまぐちは高齢消費者被害防止見守りセミナーを開催しました。

インターネットでの詐欺と 対策を学ぼう!

テーマ：ネット事件簿“2024”

～SNS・インスタに潜む詐欺?～

講師：消費生活アドバイザー 岡本浩司氏

主催：山口県消費生活センター

日時：3月13日(水)



インターネットを使うときに起こりやすいトラブルやネット上での契約トラブルと詐欺被害についてわかりやすく話していただきました

石川県生協連へ能登半島地震の見舞金を贈呈しました。

このたびの「令和6年能登半島地震」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。山口県生協連では、東日本大震災や熊本地震の際にも、該当の生協連に見舞金を贈呈してきました。この度、石川県生協連にお見舞いを申し上げ、見舞金を贈呈しました。被災者の一日も早い復興と、元の生活に戻れることを心よりお祈りいたします。



発行日：2024/3/27